



尊厳を持って生きることとは

12/3 人権のつどい

人権について考え、意識を高める機会として「人権のつどい」(市・市教育委員会主催)が豊科公民館で開かれました。当日は市民など約700人が来場しました。第1部では全国中学生人権作文コンテストの松本地区入賞者の表彰式が行われ、安曇野市の受賞者6人を代表して3人が作文を発表しました。最優秀賞に選ばれた寺畑愛菜さん(穂高西中3年)は、余命を宣告された祖母の毅然と生きる姿を語り、「病を抱えている人たちの人権

とは、たとえそれが辛く、苦しい闘病生活だとしても、そして短い未来だったとしても、やはり告知され、自分自身を知る権利があるということだと思います」と体験から得た考えを述べました。

第2部の講演会では、北朝鮮による拉致被害者の蓮池薫さんが「夢と絆」と題して講演。自身の夢や家族との絆を一瞬で奪われた拉致体験談を語りました。蓮池さんは、「関係者に残された時間は少ない。待たなしの問題になっている」と、帰国できない被害者への支援を呼び掛けました。



運動能力の特性を知る

1/13 スポーツ少年団運動適正テスト

市スポーツ少年団(加々美浩一本部長)の運動適正テストが、堀金総合体育館で開かれました。当日は約150人の団員が参加。立ち幅跳びや5分間走などにより、それぞれの運動能力の特性を分析しました。加々美本部長は「日々の練習の成果が生かされ、それぞれに体力向上があったと思う。地域や競技別の交流を通じて、心と体のバランスがとれた子どもたちを育てていきたい」と話しました。



予防消防の誓い 新たに

1/7 市消防団出初式

市消防団出初式が豊科公民館ホールを主会場に開かれました。式典には428人の団員が参加し、無火災表彰や退団者表彰が行われました。鳥羽昌弘団長は式辞の中で「予防消防に徹し、共助の精神を市民に広めていきたい」と話しました。式典後には分列行進が行われ、豊科公民館から音楽隊の行進曲に合わせて周回しました。



再会を喜ぶ新成人



フォトムービーの上映



懐かしの給食

市内で1,047人が新成人に

1/7 平成30年安曇野市成人式

市成人式が安曇野スイス村サンモリッツで開かれました。本年度、市内では1,047人(男性521人、女性526人)が新成人となり、式典には775人が出席。スーツや振り袖姿の新成人が集まり、友人や恩師との再会を喜んだり、記念撮影をする姿が見られました。

式典では、宮澤市長が、国内外の社会問題に触れ、政治に関心を持つことの重要性を呼びかけ、「安曇野に愛着を持ち、若い力を発揮してほしい」と述べました。

式典終了後の交流会では、実行委員が企画したアトラクション「成人の主張」が開催され、謝りたいことや友人に出会えた感謝などをステージ上から発表しました。また、中学時代のフォトムービーの上映や中学時代の給食のメニューを再現した料理が出され、懐かしい味を味わいながら思い出話に花を咲かせていました。

新成人インタビュー

安曇野の良さって何?

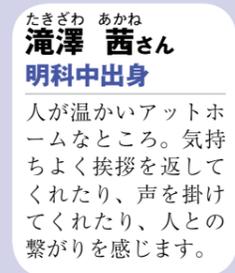
まるやま ちさき
丸山 智咲さん
三郷中出身

自然豊かで空気がきれいなところ。普段飲んでいる水もおいしいです。雄大な北アルプスや田園風景が大好きです。



おがわ せいや
小川 聖矢さん
穂高西中出身

農作物がおいしいところ。特にお米が好きです。現在県外に住んでいますが、新鮮な安曇野の農産物が恋しくなります。



たきざわ あかね
滝澤 茜さん
明科中出身

人が温かいアットホームなところ。気持ちよく挨拶を返してくれたり、声を掛けてくれたり、人との繋がりを感じます。